



The Service Club for the YMCA  
**THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU**

Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs Chartered 1950

c/o YAMANASHI YMCA 3-10-7, Chuo Kofu 400-0032 Japan

Tel 055-235-8543

国際会長主題：世界とともにワイズメン(Y's Men with the World) キム・サンチェ(韓国)  
 アジア太平洋地域会長主題：100年を越えて変革しよう 大野 勉 (神戸ポート)  
 東日本区理事主題：私たちは次の世代のために何ができるか? 大久保知宏 (宇都宮)  
 あずさ部長主題：道を拓く～愛と協力によって 長谷川あや子 (東京八王子)  
 甲府クラブ会長主題：ワイズ魂を堅持し、情熱を持って前進! 石川 和弘

甲府ワイズメンズクラブ

2022年 3月 会報

●今月の強調目標

CS・ワイズメネット

■ ■ ■ 今月のことば ■ ■ ■

「人生は受け入れるものではなく、引き受けるもの」

ジャン=ポール・サルトル

宮川 真有 さん 選

今月の例会案内

日時：2022年3月8日(火) 18:45～20:45  
 会場：ホテル談露館  
 担当：会員増強委員会/国際・交流委員会  
 司会：ピーター・マウントフォード君

//// //// 巻頭メッセージ //// ////

強調月間に寄せて

甲府ワイズメネット会会長 標 恭子

プログラム

- ・開会点鐘 石川 和弘 会長
- ・ワイズソング・ワイズの信条
- ・会長挨拶・ゲスト紹介 石川 和弘 会長
- ・入会式 池上 宗遠さん
- 進行 仙洞田 安宏 君
- ・今月のことば 宮川 真有 さん
- ・食前感謝 田草川すみ江 さん
- ・ワイズディナー
- ・会員卓話「半導体入門」 田中 克男 君
- ・ハッピーバースデー&アニバーサリー
- ・諸報告
- ・YMCAの歌
- ・閉会点鐘 石川 和弘 会長



春を目の前にして庭先に出ると、水仙の芽がだいぶ伸びてきましたが、今年もまた二人で家にある桜の花を見るだけで春が過ぎていきそうです。早くワイズの皆様とお花見にでも出かけたいものです。

こんなコロナ禍で、甲府ワイズメネット会も集まる機会をもつことができません。現在会員は13名です。昨年行われた山梨YMCAバザーでは長年続けてきたケーキ作りができず大変申し訳ありませんでした。そしてチャリティーランではお弁当の袋詰めのお手伝いを5名で行いました。近年行事に参加できるメネットも限られてきました。

このブリテンを読んで下さっている方でメネット会に入っていない方も、バザー、チャリティーランに参加お手伝いできる方、またYMCAバザーで販売できる物、こんな物を作るなら作り方を教えられるなどメネット活動のプラスになるご意見がありましたら、ご連絡いただきたいと思います。

メンの皆さんと一緒に楽しみながら奉仕できたらと思っています。まだまだ寒い日が続きますがお体に気を付けてお過ごしください。



2月のデータ

会員数 30名(うち広義会員1名)  
 2月例会は中止のため、データはありません。

\*これからの行事予定\*

- 3月22日(火) クラブ役員会
- 3月24日(木) チャリティーラン実行委員会
- 4月12日(火) 4月例会
- 5月21日(土) 山梨YMCAチャリティーラン

## 2月役員会報告

◎2月22日(火) 18:30～19:25 山梨YMCA

◎出席者:石川(和)・田中・渡辺・廣瀬・田草川・丹後・マウントフォード・仙洞田

### 【報告事項】

▽本ブリテンに掲載事項は割愛します。(編集者)

▽2月の新クラブ仮例会はオミクロン感染拡大のため中止した。

▽2月21日(月)チャリティーラン実行委員会(ZOOM)、参加者:石川(和)・渡辺・田中・仙洞田・廣瀬  
コロナの状況が不透明であるが、5月21日(土)小瀬スポーツ公園補助競技場での開催を前提とし、今後のスケジュールを進めることを決定、3月24日(木)の第2回実行委員会で開催方法、開催期日等を最終決定する。

▽使用済み切手の回収:2月10日にあずさ部の篠原国際・交流事業主査に1,124gを送った。次回からは国内、海外の切手を分けて回収するよう徹底。

### 【協議事項】

▽3月例会について:3月8日(火)、担当・会員増強委員会及び国際交流委員会、池上宗遠さんの入会式、田中会員の卓話「半導体入門」、コロナの状況により、開催の可否を2月28日に決定(会長、例会担当委員会委員長、書記で打合せ決定する)、3月1日に例会案内を出す。

▽4月例会について:4月12日(火)、担当・地域奉仕委員会、山梨YMCA福田奈里子さんによる国際交流事業についての卓話、担当主事として中田純子さんの入会式

### 【その他】

▽ナイトフォーラムについて:2月26日(土)20:00～22:00、卓話者:山田公平さま(宇都宮クラブ、次々期理事、ワイズ・YMCAパートナーシップ検討委員会リエゾン)講演内容は、『Y's Youth Action 2022について』、仙洞田会員があずさ部のCS活動のパネル・ディスカッションに参加する。会員に参加の呼びかけをする。

▽国際会長などの選挙について:次期国際会長にデンマークのウルリック・ラウリドセン氏、次期アジア太平洋地域選出国際議員に川越クラブの利根川恵子氏が選出された。

▽3月例会で露木総主事の退任に当たり感謝の気持ちを表す。

### 【今後の予定】

▽次期クラブ会長・部役員研修会: 3月5日(土)10:00～16:00、ZOOM開催 次期会長田中、次期あずさ部国際・交流事業主査ピーターM 参加

▽第24回山梨YMCAチャリティーラン実行委員会  
(書記・廣瀬静男)

## 第2回あずさ部SDC評議会報告

標 克明

2月12日(土)13:00～16:00 ZOOMを使つての評議会がありました。参加者は50名で、開会式はホストクラブの東京武蔵野多摩クラブ山口書記の司会で行い、会議の説明が渡辺会長からあり、長谷川あずさ部長の開会点鐘と、歓迎の挨拶が会長からありました。

評議会は、あずさ部久保田書記の司会にかわり、参加者と委任状の数を確認、長谷川部長が会の成立を宣言しました。長谷川部長のZOOM会議ではありますが、多くの会員が参加していただいて大変うれしく思います。と挨拶があり、続いて大久保東日本区理事の挨拶をいただきました。

議案審議は1号議案、あずさ部次期役員承認の件。後藤次期あずさ部長(富士五湖)の提案で、次期役員案が発表され可決されました。甲府クラブでは、会長が田中克男さん、国際・交流事業主査がピーターさんです。

第2号議案は、2022-2023年度の次期部長承認の件が長谷川部長から長野クラブの森本さんが推薦され、可決されました。

第3号議案は、荻野CS/Yサ事業主査から、事業助成金の支払いの件で松本クラブと、富士五湖クラブに支払うという提案がされこれも可決されました。すべての議案が可決されて、部長報告、会計中間報告、各事業主査の報告、クラブ会長報告がありました。

閉会式では藤江監事の講評と写真撮影をスクリーンでしたが行い、評議会は終了しました。

休憩の後、講演会がやはりZOOMで行われ、「持続可能な社会に向かって歩む～身近なところからSDGsを」と題して、上条直美氏(開発教育協会理事)のお話を聞きました。上条さんはYMCAとの関りも強く、ワイズとの印象深い話からはじめ、ZOOMのチャットを使って参加している皆さんとコミュニケーションをとりながら「17の目標と169のターゲット、人類共通の課題で、誰一人取り残さない」というSDGsの意味をクイズ形式で楽しく全員で参加できる講演会となりました。

講演会の後はしばらく希望者だけのZOOMミーティングがあり、あずさ部のことなど諸々の話をしていました。



## 第4回ワイズナイトフォーラム報告

東日本区「Change!2022推進委員会」主催の第4回ワイズナイトフォーラムが、2月26日(土)午後8時から10時までリモート形式で開催されました。

今回のプログラムは、前半で山田公平さん(東日本区国際・交流事業主任/元アジア太平洋YMCA同盟総主事)が「Y's×SDGs Youth Action 2022について」という演題で、ワイズ・YMCAパートナーシップ検討委員会のリエゾンという立場から、ワイズとYMCAの協働についての展望が語られました。

具体的には、今取り組みが始まった「ユースアクション」について詳細が紹介されました。この事業には山梨YMCAからも応募しているようで、選考結果が注目されます。

後半は、あずさ部のCS活動についてのパネルディスカッションが、荻野清さん(甲府21・あずさ部地域奉仕事業主査)の進行で行われました。

部内5クラブから

- ①甲府(お正月を遊ぼうとラ・ロの会)
  - ②東京サンライズ(山中湖地域クリスマス)
  - ③甲府21(ベビーカーコンサート)
  - ④東京八王子(地雷廃絶チャリティーコンサート)
  - ⑤富士五湖(障がい者フライングディスク大会)
- の活動の紹介がありました。

甲府は仙洞田が担当し、60周年記念事業で行った、藤村記念館周囲へのバラの植栽をきっかけに、北口のNPO法人「まちづくり委員会」との関係が出来、その後の「お正月を遊ぼう」や「ラ・ロの会」へと繋がった旨を説明しました。

また、過去の周年記念の際に、新クラブを設立してきたことから、2年前の70周年記念事業として、新クラブ設立に挑戦していることも紹介しました。

ZOOMという形式で、静かな部屋でPCに向かって話すというのは、聞いている人の反応が肌で感じることができず、違和感があるものです。

参加者は、多少の出入りがあったようですが、60～70名だったようです。嬉しい事に、DBC和歌山クラブの神谷尚孝さんも参加され、お元気な姿を見る事ができました。この点はZOOMの良い所でしょうか。

甲府クラブからの参加は、渡辺、廣瀬、仙洞田の三人で、少し寂しい気もしました。

なお、次回(第5回)は4月16日(土)、江夏一彰さん(東京武蔵野多摩クラブ・東京都立多摩総合医療センター検査科医師、日本聖公会司祭)による講演「コロナ禍でも生きる…」と、パネルディスカッション「北東部のCS活動」が予定されています。

(仙洞田安宏)

## ようこそ!甲府クラブへ～新入会員紹介

池上 宗遠 (いけがみ しゅうとう) さん

1984年生まれの38歳、日蓮宗総本山・身延山久遠寺の御用達として寛永3年創業の菓子司「甘養亭河喜」の若き専務取締役です。バンクシーとオールドノリタケのコレクションでも有名です。

紹介者:宮川真有会員

## 北口のバラの手入れ

渡辺 徳之



北口よっちゃばれ広場のバラは当クラブの創立60周年記念事業で植栽し、その後北口まちづくり委員会の下に「ラロの

会」が作られ管理されています。

2月6日(日)には、バラの剪定の作業が行われました。作業前に指導の後藤みどり先生から基本的な剪定手法の指導を頂き作業に入り、昼頃にはこの日の作業を終了しました。2月13日(日)には、ラロの会会員以外に甲府北ロータリークラブの方もご参加頂き、広場の大鉢バラ用土の入替作業と藤村記念館周辺等の植え込みバラへの用土散布、天地返し作業を行いました。両日とも、40名程で行い、当クラブからはピーターさん・杉田さんと渡辺の3名が参加しました。今年も綺麗なバラが咲いてくれるものと思います。

## 《今月のことばについて》～宮川 真有

私の人生の支柱にあった言葉です。人生や運命という人の裁量の及ばぬことに対して「主体的」である視点は、この言葉と出会った当時の私には、大変にセンセーショナルでした。

私は当時工学部の大学生でした。しかし脳に腫瘍が見つかり地元の工学部に進学したのも祖母の介護をしたかったからだけでした。学問に意欲も、生活に意味も見いだせず、さらに病気と追い打ちをかけられ気が付くと希望を失うまでになりました。「本当は社会科の教師に・・・」といういつか描いた夢をふと思い出しサルトルの作品に出会いました。その時まで人生や運命というものは自分ではどうしようもないものでしたが、「引き受ける」という視点を学び、「この時期を引き受けた自分」がいるならばなんとも心強いとも思いました。

病気はその後10年かかり治癒し、山梨に進学し念願の社会科の教師にもなれました。今度の自分の役割は「人生や運命を引き受けた」子ども達や地域の方々と共に制度作りをすること。そう思わずにはいられません。



## 談話室

「ロシアのウクライナ侵攻から思うこと」

丸茂 正樹

2月24日、ロシアがウクライナへの侵攻を開始した。ウクライナ国内の親ロシア派地域の人々を保護することが目的としている。いかなる理由があろうとも武力をもって問題解決を図ろうとすることに強烈な違和感を覚える。侵攻した際は経済制裁を実施すると米国が繰り返し警告してきたが、ロシアにとってそんなことはお構いなしだ。国の安全を真剣に考えることは、とても大切であると再認識させられた。

世界は全く平和ではない。我が国周辺の国際情勢についても厳しいと判断するのが常識的ではないか。北には今回侵略行為をはたらいているロシアがあり、西にはミサイルを連発している北朝鮮があり、また南西には軍備拡張を進める中国が、沖縄県尖閣諸島周辺で領海侵犯を繰り返している。

また中国は台湾問題について武力による解決を否定していない。仮に中国が台湾を侵攻したら日本はどうするのか。米国が台湾防衛のために明確な行動を起こした場合は、日米同盟に基づき日本は米国と行動を共にし、間接的に台湾を支援することになる。中国は核保有の軍事大国である。日本に対してどれくらいの攻撃が予想されるのか。逆に対中配慮として、日本が米国と共に動かなかつたら、その瞬間に日米同盟は終わる。その後日本は単独で物騒な周辺国と対峙しなければならない。どちらに転んでも悪夢だ。

平和を唱えていけば平和な世界がやってくると思うのは、もはや幻想でしかない。我々の平和と安全を守るためには、偏見や思い込み、イデオロギーを排して、伶俐で現実的な情勢判断を基に対策を取るべきだ。

今年こそ世界から戦争がなくなり、少しでも平和になりますように。

### 3月アニバーサリー

根津宏次・恵美(13日) 杉田雄二・恵(15日)

仙洞田安宏・克子(27日)

### 3月 ハッピーバースデー

メネット：鶴田 美恵子(18日)



“VISION2030”

山梨YMCA 総主事 露木淳司

いよいよYMCAだよりの担当も今回で最後になります。改めまして皆様、未熟者の私を長い間ご指導いただきありがとうございました。心より感謝申し上げます。実は私にはやり残していることがいくつかあります。そこで、次期総主事の中田純子と共に、この後の山梨YMCAの事業を引き続き担っていただくスタッフとサポートしていただけるワイズの皆様のために、“VISION2030”と称する将来構想を四項目にまとめましたのでご紹介申し上げます。差し詰め“四つのお願い”とでも申しませうか。

まず一つ目は、2020年に皆様の募金によって竣工した新会館、グローバル・コミュニティー・センターにおける地域共生社会創生に向けての事業の完成です。障がいのあるなしに関わらず、0才から100才までのすべての人々が、一つ屋根の下で共に居場所づくりをする。この願いを成就するために、野の花保育園とオリーブの木、ぽかぽか・きらきら教室、そして英語学童キッズ・パラダイスの利用者を確実に集め、軌道に乗せること。さらには中高生から大学生を対象とするユース・リーダーの活動を活性化させ、各事業と相互に交流する日常を確立することが求められます。

そして二つ目はトータル・チャイルドケア・システムの構築です。乳幼児期から学童期、青年期、そして就労支援に至るまで、一人ひとりの子どもたちの生涯にわたって伴走していける仕組みを作ります。現在の甲府市、中央市から、山梨県各地にそのための拠点や連携してくれる施設を徐々に拡げ、県民が等しくサービスが受けられるネットワークを作ることを目指します。

三つめはSDGsを念頭に明日の指導者を育成する野外環境教育施設の取得です。下草狩りや農作業、ツリーハウスや冒険施設づくりなど、ワークキャンプによる設備の拡充を実現し、自然体験、生活体験、社会体験の三つの体験学習を可能にします。児童青少年やユースリーダーの心のふるさととなるキャンプ場を目指します。

最後となる四つ目は、ぶどうの木、オリーブの木を立ち上げた小野興子氏の構想、ケアコミュニティーづくりの実現です。地域共生とも関連しますが、高齢者を孤立させない、人生の最後を家庭で安心して過ごせる環境づくりのために、関連する地域の諸団体、施設と連携し、ケアし合えるコミュニティーづくりを目指します。そしてさらに利用者の家族、子孫がYMCAにつながっていきます。

この四つの構想を2030年までに実現させたいと願うのがVISION2030です。ぜひ、皆様も共にこの山梨YMCAの目指すゴールを見据えて、知恵と力をお貸しいただけないでしょうか？